

審 議 資 料

項目：主要環境（大気等）

担当：片谷委員

意 見

【大気等】

建設機械の稼働に伴う排出ガスは評価の指標を満足するとしているが、計画地に隣接して葛西臨海公園など人が集まる施設が存在していることから、環境保全措置を徹底し、建設作業における大気質への影響のより一層の低減に努めること。

審 議 資 料

項目：生態系（生物の生育・生息基盤、生物・生態系、緑）

担当：興水委員

意 見

【生物の生育・生息基盤、生物・生態系、緑 共通】

- 1 クロマツ植林は残置する計画としていることから、工事の影響が及ばないよう、適切に仮囲いを行うなど、その保全に配慮すること。

【生物の生育・生息基盤、生物・生態系、緑 共通】

- 2 緑地の整備に当たっては、「植栽時における在来種選定ガイドライン」を参考にするとともに、隣接する葛西臨海公園との緑の連続性に配慮すること。

【生物・生態系】

- 3 残置されるクロマツ植林内には、注目される植物のタンキリマメが生育していることから、フォローアップ調査で工事後の生育状況を報告すること。

審 議 資 料

項目：生活環境（騒音・振動）

担当：山本委員

意 見

【騒音・振動】

工事用車両の走行に伴う道路交通騒音について、本事業による増加分はわずかであるとしているが、工事用車両の走行ルート沿道には教育施設や福祉施設があることから、環境保全措置を徹底し、工事用車両による騒音のより一層の低減に努めること。

審 議 資 料

項目：アメニティ・文化（景観、自然との触れ合い活動の場、歩行者空間の快適性）
担当：平手委員、輿水委員

意 見

【景観】

- 1 代表的な眺望地点として設定している地点からカヌー・スラロームコースの様子を把握することができないため、眺望地点を追加すること。

【自然との触れ合い活動の場】

- 2 計画地は、葛西臨海公園、サイクリングロード及び健康の道に隣接していることから、建設機械の稼働等に当たっては、環境保全措置を徹底し、利用者の活動を阻害しないよう努めること。

【歩行者空間の快適性】

- 3 暑さ対策について可能な限りの配慮を行う計画としていることから、公園管理者、道路管理者等と十分に連携を図り、緑陰を確保するなど、より一層の暑さ対策に努めること。

審 議 資 料

項目：安全・衛生・安心（消防・防災）

担当：池上委員

意 見

【消防・防災】

国内初の人工スラロームコースと特殊な施設であることから、危機管理体制等の防災への取組について具体的に説明すること。

審 議 資 料

項目：交通（交通安全）

担当：水村委員

意 見

【交通安全】

工事用車両の走行にあたり、都道 318 号環状七号線及び都道 308 号千住小松川葛西沖線（船堀街道）を利用しているが、この周囲には教育施設や福祉施設があることから、歩行者、自転車、一般車両等を優先するなど環境保全措置を徹底し、より一層の交通安全の確保に努めること。